

2015-12-13(日)

■無形民俗文化財のボロ市を見に行く

地元のフリーマガジンで知って、練馬区無形民俗文化財に登録されているという「関のボロ市」を見に行っただ。

それは毎年、武蔵関駅北口商店街から本立寺のエリアで300軒近くの露店が並び、夜には万灯行列が行われる江戸時代中期から続いている伝統行事だという。それが実際どんなものか知りたくて見に行くことにした。

家は同じ区内だけど1時間近くかかった。金魚すくいや射的、わたあめとかを見ると懐かしくなる。実家から歩いて行ける駅前広場の夏祭りがなくなって以来、お祭りみたいなものは身近でなくなった。

商店街には絵本専門のリサイクルショップや中古着物の買取・販売をしている着物屋さんがあった。露店では古着はもちろん、新品の洗濯板等の生活用品の販売もあり、飴や金平糖の量り売りもあった。私は地元農家の野菜を買った。

私は1人で行ってお店の人と必要な会話をしただけなので、制服を着た女の子2人組があんず飴を手に歩いていたたり、ママ友に会ってあいさつを交わす子連れのパママさんを見ると、そんな風に市で集う人達がちょっと羨ましくなった。

(アラサー女子)